



基 調 講 演

公益社団法人 地域医療振興協会 常務理事

みやざき

宮崎

くにひさ

国久

学歴等

1984 年 3 月	自治医科大学医学部卒業
1984 年 6 月	国立長崎中央病院研修医
1986 年 6 月	長崎県離島医療圏組合生月病院 外科
1987 年 6 月	国立長崎中央病院 外科研修
1988 年 6 月	長崎県離島医療圏組合上五島病院 外科
1993 年 6 月	自治医科大学附属大宮医療センター 外科助手 (現：自治医科大学附属さいたま医療センター)
1994 年 6 月	自治医科大学地域医療講座（国立がんセンター研究所研修）
1996 年 4 月	自治医科大学附属大宮医療センター 外科
1997 年 1 月	町立ゆきぐに大和病院 外科
1998 年 4 月	自治医科大学附属大宮医療センター 外科
1999 年 6 月	同愛記念病院 外科
2001 年 4 月	自治医科大学附属大宮医療センター 外科
2004 年 4 月	東京北社会保険病院（現：東京北医療センター）外科
2010 年 4 月	東京ベイ・浦安市川医療センター 外科兼副管理者
2014 年 3 月	東京北社会保険病院（現：東京北医療センター）外科・総合診療科兼副管理者
2014 年 6 月	東京北医療センター 外科兼管理者

免許／資格

医学博士
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本消化器外科学会 消化器外科専門医・指導医
米国外科学会 ATOM インストラクター

公益社団法人地域医療振興協会常務理事

一般社団法人東京都病院協会常任理事

一般社団法人東京都北区医師会理事

東京北医療センター

管理者 宮崎国久

SDGsを病院が意識するようになったきっかけ

忘己利他（もうこりた）：己を忘れ、他人を利する
自治医大の初代学長である中尾喜久先生からいただいた言葉

企業としては自己の利益を優先してばかりだと社会での評価が低い、そもそも医療とは貢献であるということの再認識。
しかし、もっとできることはないか？

SDGsとは？

「SDGs」と聞いて、皆様はどういったことをイメージしますか？

環境問題、特に二酸化炭素対策や、LGBTQ等でしょうか？

我々もそうでした

二酸化炭素排出抑制 → 病院では、公用車のEV化、紙を減らす、
ごみを減らすなど

LGBTQ → 雇用、患者様対応、職員ロッカー、トイレの問題等
そういったことを考えてました。

実際の取り組みは上記のようなことが主ですが……

SDGsはそもそも

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- | | | | |
|------------------------------|---|-------------------------------|---|
| <p>1 貧困をなくそう</p> | <p>1. 貧困をなくそう
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p> | <p>4 質の高い教育をみんなに</p> | <p>4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> |
| <p>2 飢餓をゼロに</p> | <p>2. 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p> | <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> | <p>5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p> |
| <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> | <p>3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p> | <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> | <p>6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p> |

病院におけるSDGs

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



7. エネルギーをみんな
にそしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼で
き、持続可能かつ近代的なエネ
ルギーへのアクセスを確保する

10 人や国の不平等
をなくそう



10. 人や国の不平等をなく
そう

国内および国家間の格差を是正
する

8 働きがいも
経済成長も



8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包
摂的かつ持続可能な経済成長、
生産的な完全雇用およびディーゼ
ント・ワーク(働きがいのある人間
らしい仕事)を推進する

11 住み続けられる
まちづくりを



11. 住み続けられるまちづ
くりを

都市と人間の居住地を包摂的、安
全、強靱かつ持続可能にする

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



9. 産業と技術革新の基
盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂
的で持続可能な産業化を推進
するとともに、技術革新の拡大
を図る

12 つくる責任
つかう責任



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを
確保する

病院におけるSDGs

13 気候変動に
具体的な対策を



13. 気候変動に具体的
な対策を

気候変動とその影響に立ち向か
うため、緊急対策を取る

16 平和と公正を
すべての人に



16. 平和と公正をすべての
人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂
的な社会を推進し、すべての人に司
法へのアクセスを提供するとともに、
あらゆるレベルにおいて効果的で責
任ある包摂的な制度を構築する

14 海の豊かさ
を守ろう



14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な
開発に向けて保全し、持続可能
な形で利用する

17 パートナリー
シップで目
標を達成しよう



17. パートナリー
シップで目
標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を
強化し、グローバル・パートナー
シップを活性化

15 陸の豊かさ
を守ろう



15. 陸の豊かさを守ろう

陸上生態系の保護、回復および
持続可能な利用の推進、森林の
持続可能な管理、砂漠化への対
処、土地劣化の阻止および逆転、
ならびに生物多様性損失の阻止
を図る

外務省が特に力を入れているもの

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

診療（国民皆保険、ワクチン接種、健康診断など）

→まさに医療！

気候変動問題

カーボンニュートラル、プラスチック廃材への対応

当センターにおけるSDGsへの取り組み

SDGs部会の設立および活動。

そのうえで、**17のターゲットの見直し**。

せっかくなので**外務省への申請**。（2022年12月で終了）

→受諾され公式ロゴの仕様が許可されました。



Japan. Committed to the SDGs

当センターのご紹介

当センターの取り組みをご紹介する前に当院のご紹介をさせていただきます。

まずは当センターも所属する、地域医療振興協会（JADECOM）についてご説明します。

当センターのご紹介

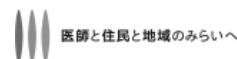
当センターの取り組みをご紹介する前に当院のご紹介をさせていただきます。

まずは当センターも所属する、地域医療振興協会（JADECOM）についてご説明します。

病院におけるSDGs



公益社団法人 地域医療振興協会



地域医療振興協会がめざすもの

- ▶ 医療に困っている地域を支援する
- ▶ 地域医療の要「総合医」の養成

これらの目標を実現するため、
3つの事業に取り組んでいます。

施設運営事業

医師派遣・診療支援事業

医師研修事業

東京北医療センター
つなぐ 命と人

公益社団法人地域医療振興協会は、「わが国の地域医療の確保と質の向上」を目的に設立されました。日本全国の地域、そこに住む人々、そして医療に携わる医療人の三者が幸せになれる未来を作っていくため、地域医療振興協会は活動を行っています。

私たちの考える地域医療の定義

- ▶ 医療人、住民と行政が三位一体になって、担当する地域の限られた医療資源を最大限有効に活用し、継続的に包括的な医療を計画・実践・評価するプロセス

私たちは、日本が元気になるよう、力を合わせ持てる資源を最大限に活用し、地域医療に全力で取り組みます

13

病院におけるSDGs

公益社団法人 地域医療振興協会

運営施設

R5.9.1現在



※施設の数は、協会パンフレットに準拠

<複合施設>10

- 青森県◇東通村保健福祉センター ◇ハケ所村医療センター
- 宮城県◇女川町地域医療センター
- 福島県◇磐梯町保健医療福祉センター
- 埼玉県◇公設宮代福祉医療センター
- 福井県◇おおい町保健・医療・福祉総合施設
- 岐阜県◇揖斐郡北西部地域医療センター
- 三重県◇志摩地域医療福祉センター
- 滋賀県◇地域包括ケアセンターいぶき ◇米原市地域包括医療福祉センター

<看護学校>

- 埼玉県◇さいたま看護専門学校
- 奈良県◇奈良市立看護専門学校

<基幹型臨床研修病院>8

- 東京都◇東京北医療センター ◇練馬光が丘病院
- 千葉県◇東京ベイ・浦安市川医療センター
- 神奈川県◇横浜賀市立うわまち病院 ◇横浜賀市立市民病院
- 三重県◇三重県立志摩病院
- 静岡県◇伊東市市民病院
- 奈良県◇市立奈良病院

<病院>18

- 北海道◇十勝いけだ地域医療センター
- 宮城県◇公立黒川病院
- 茨城県◇石岡第一病院 ◇村立東海病院
- 栃木県◇日光市民病院
- 群馬県◇西吾妻福祉病院
- 東京都◇台東区立台東病院・老人保健施設千束
- 新潟県◇湯沢町保健医療センター
- 山梨県◇上野原市立病院
- 福井県◇公立丹南病院
- 岐阜県◇市立恵那病院
- 静岡県◇伊豆今井病院
- 愛知県◇あま市市民病院
- 和歌山県◇有田市立病院 令和5年4月～
- 福岡県◇飯塚市立病院
- 長崎県◇市立大村市民病院
- 沖縄県◇公立久米島病院

<介護老人保健施設（単独）>8

- 青森県◇東通村◇のはなしょうぶ
- 宮城県◇富谷市◇富谷の郷
- 栃木県◇日光市◇にっこう
- 千葉県◇市川市◇ゆうゆう
- 東京都◇北区◇さくら
- 静岡県◇伊東市◇みはらし
- 岐阜県◇恵那市◇ひまわり
- 香川県◇綾川町◇あやがわ 令和4年4月～

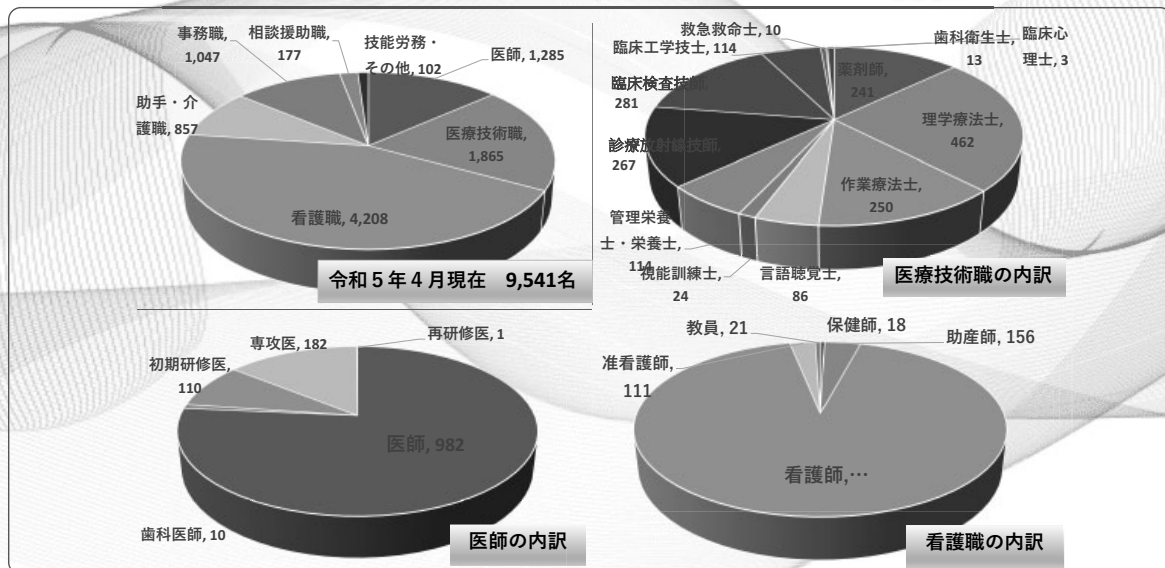
<診療所（単独）>41

- 北海道◇豊頃町立豊頃医院
- 青森県◇白糠診療所 ◇東通村診療所
- 山形県◇おきたまクリニック
- 栃木県◇日光市立奥日光診療所 ◇日光市立小来川診療所
- 群馬県◇嬭恋村国民健康保険診療所 ◇六合医療センター
- 千葉県◇君津市国民健康保険診療所
- 東京都◇古里診療所
- 神奈川県◇山北町立山北診療所 ◇真鶴町国民健康保険診療所
- 新潟県◇今泉記念館 ゆきあかり診療所
- 石川県◇加賀地域医療支援センター
- 岐阜県◇揖斐川町春日診療所 ◇サ・サ・サ診療所 ◇関市国民健康保険津保川診療所 ◇揖斐川町谷汲中央診療所 ◇恵那市国民健康保険山岡診療所 ◇いびがわ診療所 令和5年11月～
- 静岡県◇西伊豆町安里診療所 ◇西伊豆町田子診療所 ◇いなす診療所 ◇上河津診療所 ◇伊豆下田診療所 ◇戸田診療所
- 三重県◇鳥羽市立長岡診療所 ◇志摩市立国民健康保険浜島診療所 令和4年4月～
- 滋賀県◇西浅井地区診療所
- 大阪府◇千早赤阪村国民健康保険診療所
- 奈良県◇奈良市立柳生診療所 ◇奈良市立田原診療所 ◇奈良市月ヶ瀬診療所 ◇奈良市立都祁診療所 ◇明日香村国民健康保険診療所 ◇奈良市立東郷診療所
- 山口県◇とくち地域医療センター
- 沖縄県◇与那国町診療所 ◇竹富町立黒島診療所 ◇国頭村立東部へき地診療所 ◇竹富町立竹富診療所

14

東京北医療センター
つなぐ 命と人

地域医療振興協会の正職員数 2023. 4現在



2022年度の医師派遣（年間延14,477日 うち協会外1,766日）

協会外（上位施設）

※協会外施設合計 年間延 1,766日

東京	東京都神津島村国民健康保険診療所	387	沖縄	沖縄県立北部病院	20
新潟	南魚沼市市民病院	263	滋賀	高島市市民病院朽木診療所	18
静岡	伊豆赤十字病院	153	沖縄	伊是名診療所	14
三重	伊勢赤十字病院	121	宮城	七ヶ宿国民健康保険診療所	14
北海道	市立根室病院	108	沖縄	渡名喜診療所	14
神奈川	三浦市立病院	75	静岡	伊東市夜間救急医療センター	13
福岡	大島診療所	50	沖縄	伊平屋診療所	13
福岡	東峰村立診療所	50	茨城	城里町国民健康保険七会診療所	12
福井	国民健康保険池田町診療所	49	宮城	大崎市市民病院鳴子温泉分院	12
山梨	北杜市立塩川病院	47	沖縄	薬国島診療所	11
長崎	長崎医療センター	41	北海道	町立厚岸病院	11
千葉	公立長生病院	40	静岡	下田メディカルセンター	10
新潟	南魚沼市立ゆきぎに大和病院	39	宮城	栗原市立鶯沢診療所	9
福岡	新宮町相島診療所	37	沖縄	阿嘉診療所	8
和歌山	高野町立高野山総合診療所	26	沖縄	伊江村立診療所	7
宮城	大崎市市民病院	24	沖縄	北大東診療所	7
神奈川	小田原市国民健康保険片浦診療所	23	北海道	留萌市立病院	6

協会内（上位施設）

※協会内施設合計 年間延 12,711日

東京	練馬光が丘病院	875	茨城	村立東海病院	466
静岡	伊東市市民病院	857	三重	三重県立志摩病院	454
新潟	湯沢町保健医療センター	798	奈良	奈良市立都祁診療所	404
北海道	十勝いけだ地域医療センター	740	栃木	日光市市民病院	399
青森	東通地域医療センター	680	青森	六ヶ所村医療センター	378
神奈川	横須賀市立市民病院	673	大阪	千早赤阪村国民健康保険診療所	371
群馬	西吾妻福祉病院	616	岐阜	揖斐郡北西部地域医療センター	369
山梨	上野原市立病院	573	栃木	奥日光診療所	366

正式名称

公益社団法人 地域医療振興協会
東京北医療センター

理念

地域に根差した医療を実践し、その人の人生を豊かにできる医療人を育成することで、社会に貢献していきます。

1. 地域に求められている医療を近隣の医療機関と連携し提供していくこと。
2. 専門医療のみならず患者さんの社会的背景などに寄り添った全人的医療を行うこと。
3. これからの日本の医療を背負っていく医療人材を育成するための教育を行うこと。

概要

病床数 351床 (ICU8床、HCU12床、NICU6床、無菌室33床)

職員数 848名

医師 153名 (内、専攻医18名、初期研修医19名)

看護師 430名 (内、助産師46名)

診療実績 (2022年度)

- | | | | |
|-------------|--------|------------|---------|
| • 入院稼働率 | 89.2% | • カテーテル数 | 592件 |
| • 外来患者数(1日) | 742.6人 | • 分娩数 | 727件 |
| • 手術件数 | 2,959件 | • 救急車受け入れ数 | 7,175台 |
| • 内視鏡検査数 | 6,247件 | • 紹介患者数 | 13,619人 |

役割・機能

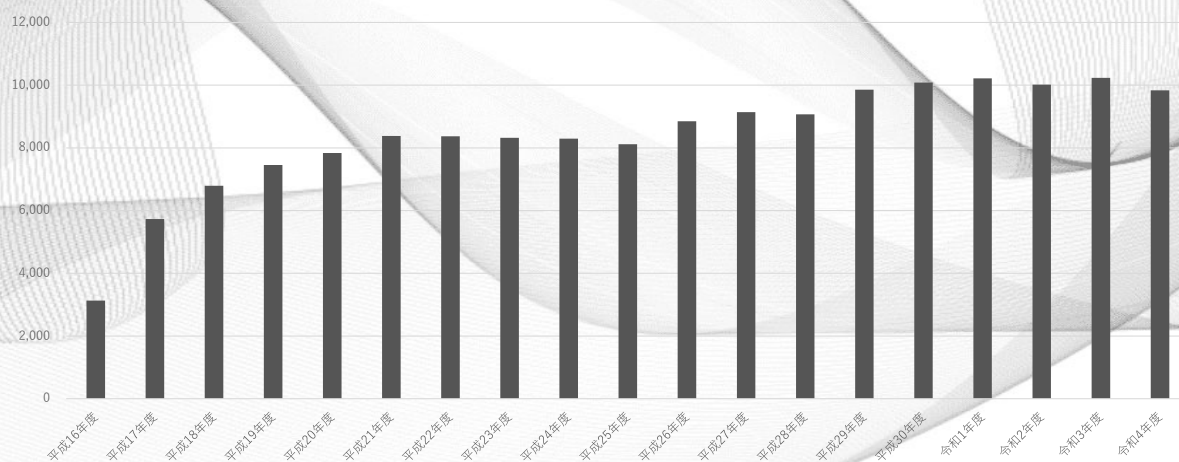
- 地域医療支援病院
- 救急指定病院
- 災害拠点病院
- 感染症協力病院
- へき地支援
- 研修病院
- 周産期医療
- 小児医療

その他、当センターの特徴

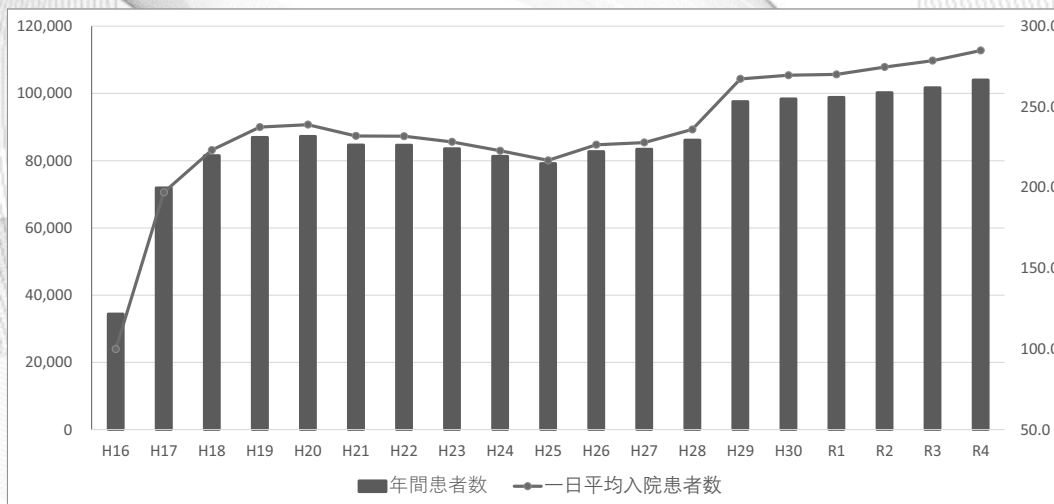
- 総合診療医
募集研修医が毎年全国でも上位に入ります。
- SDGs
17項目すべてにおいて病院全体で取り組んでおります
- DXへの取り組み
デジタルサイネージ、デジタルパンフレット、ユーチューブ活用など、デジタルコンテンツを十分に活用中です

当センター診療実績の経緯

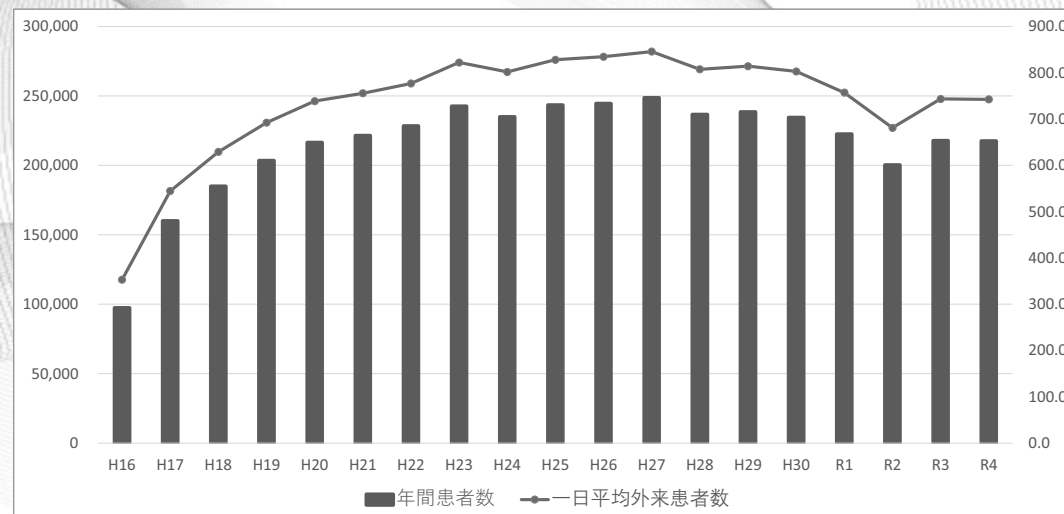
新入院数

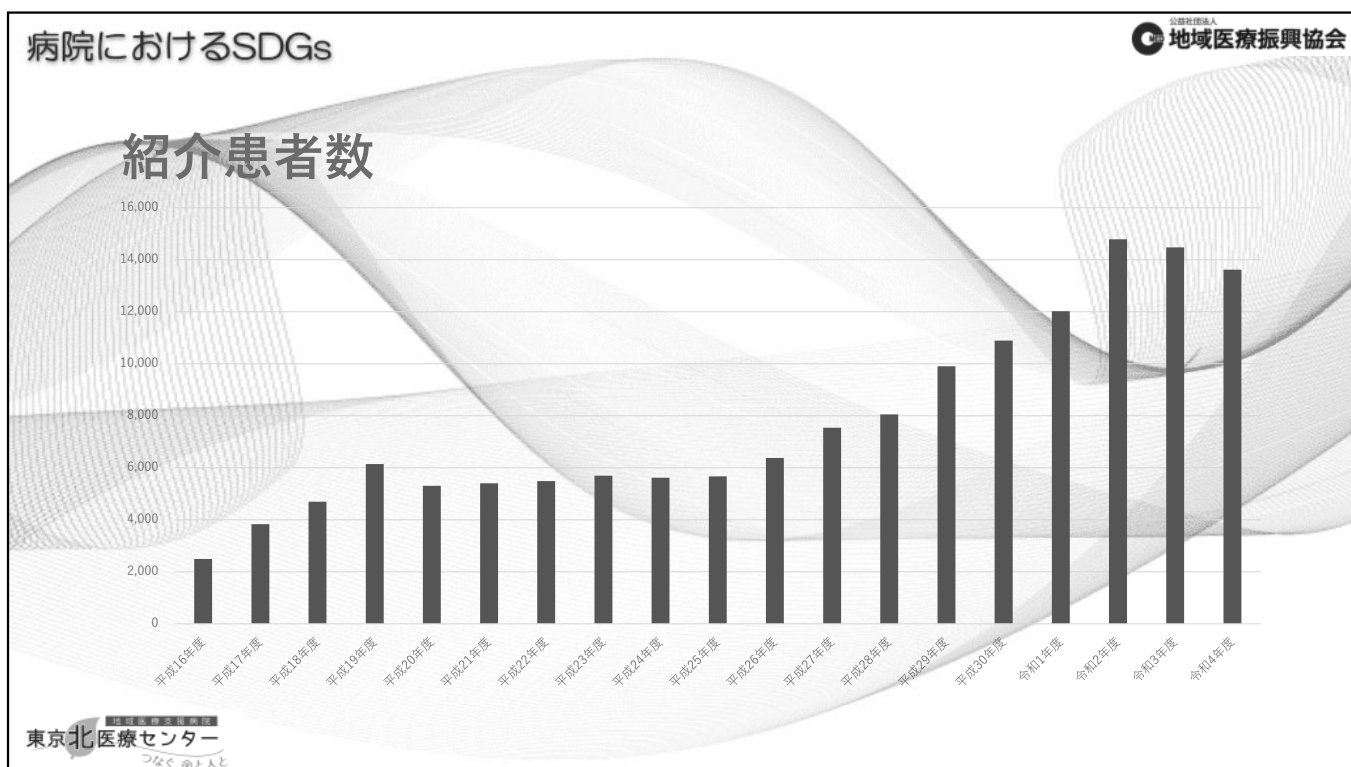
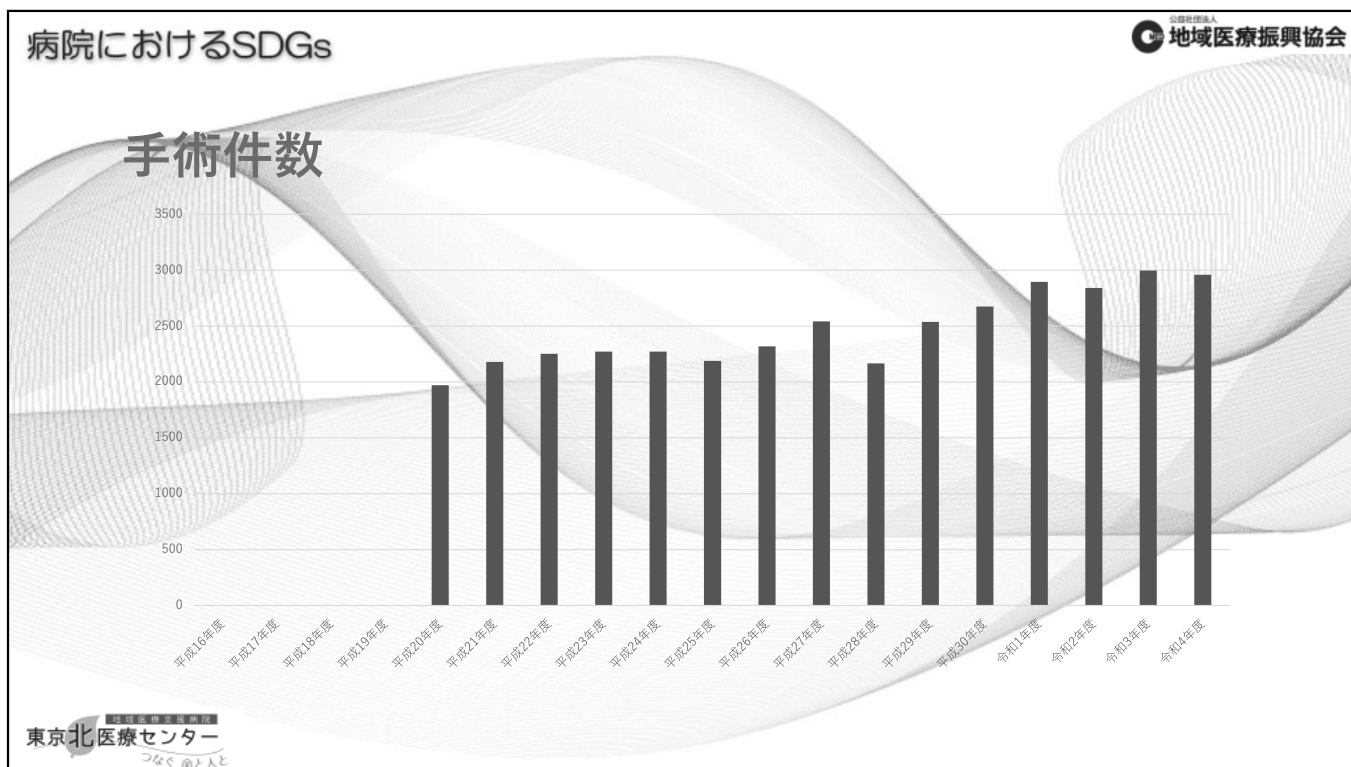


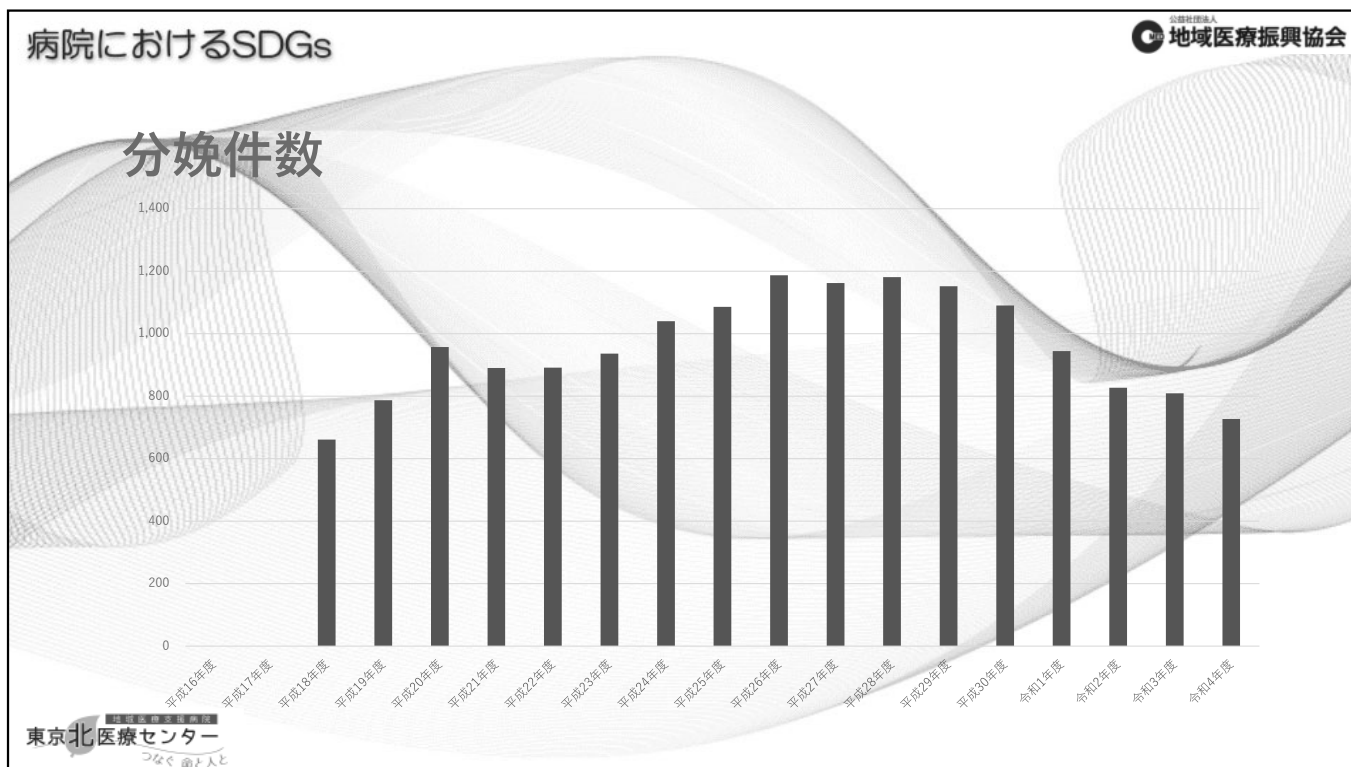
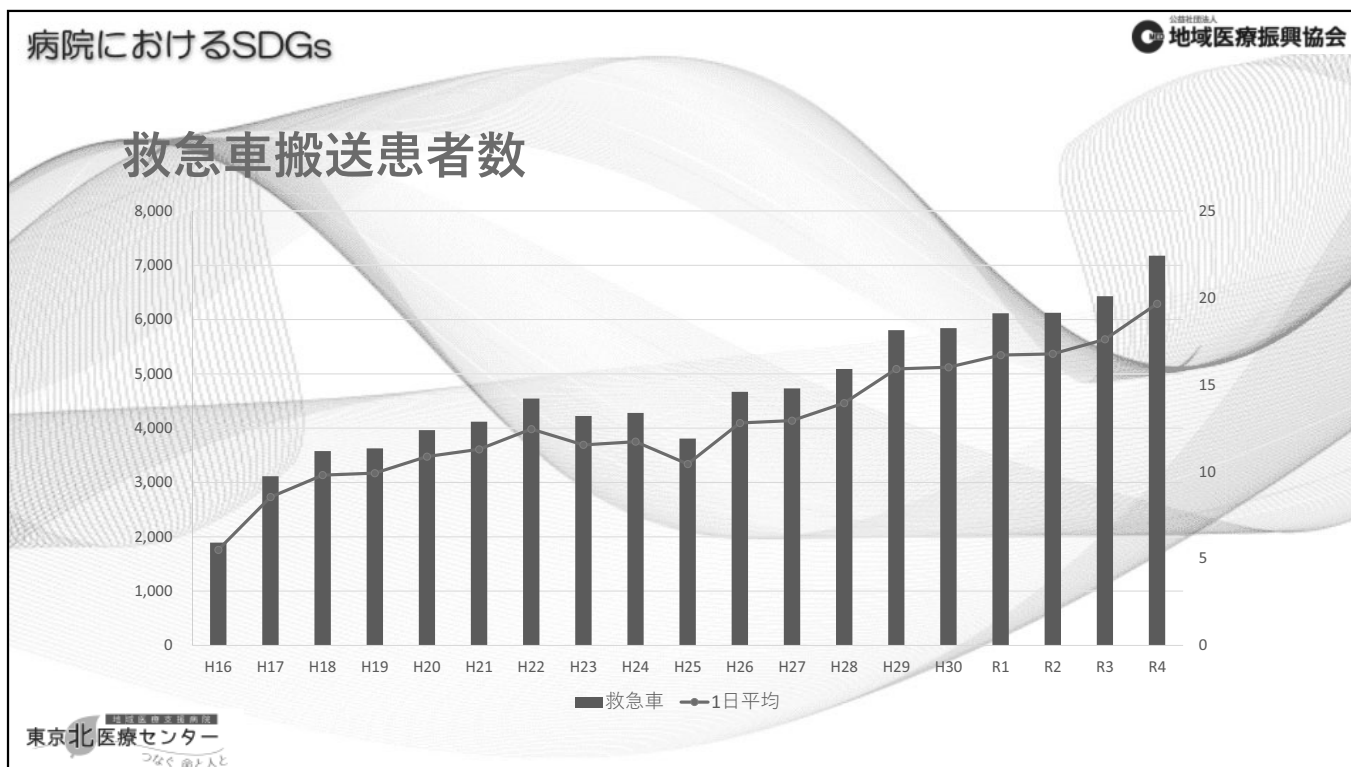
入院患者推移数



外来患者推移数



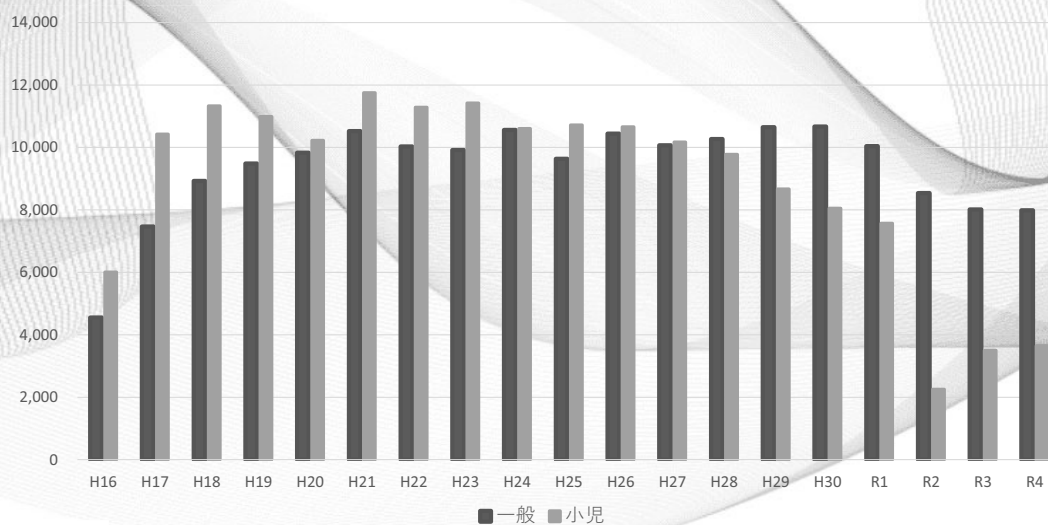




小児医療

小児救急 24時間365日体制

時間外患者数

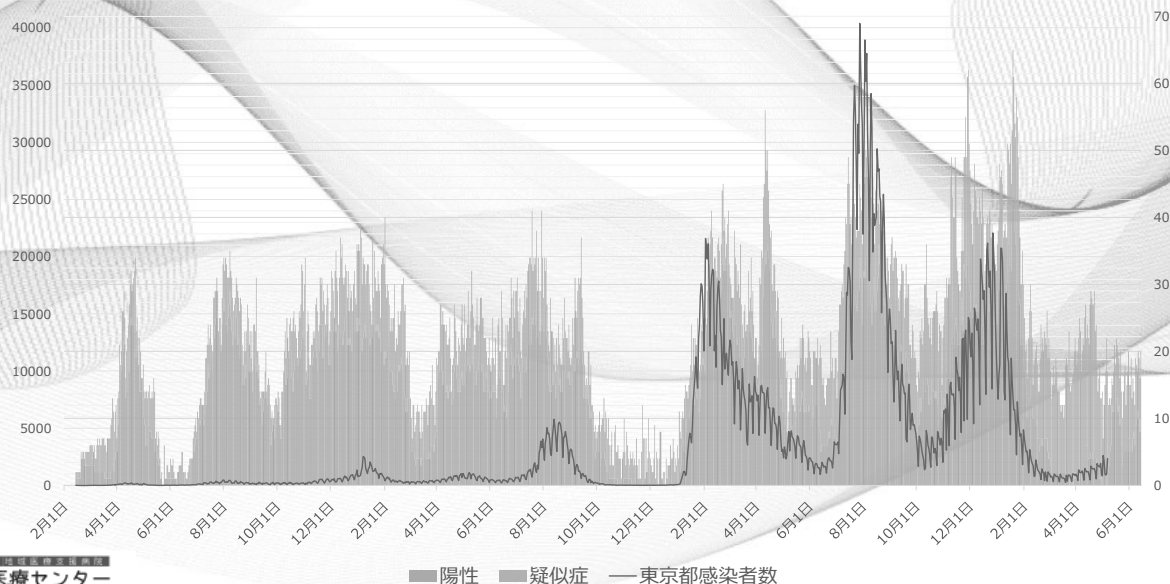


新型コロナウイルス感染症対応について

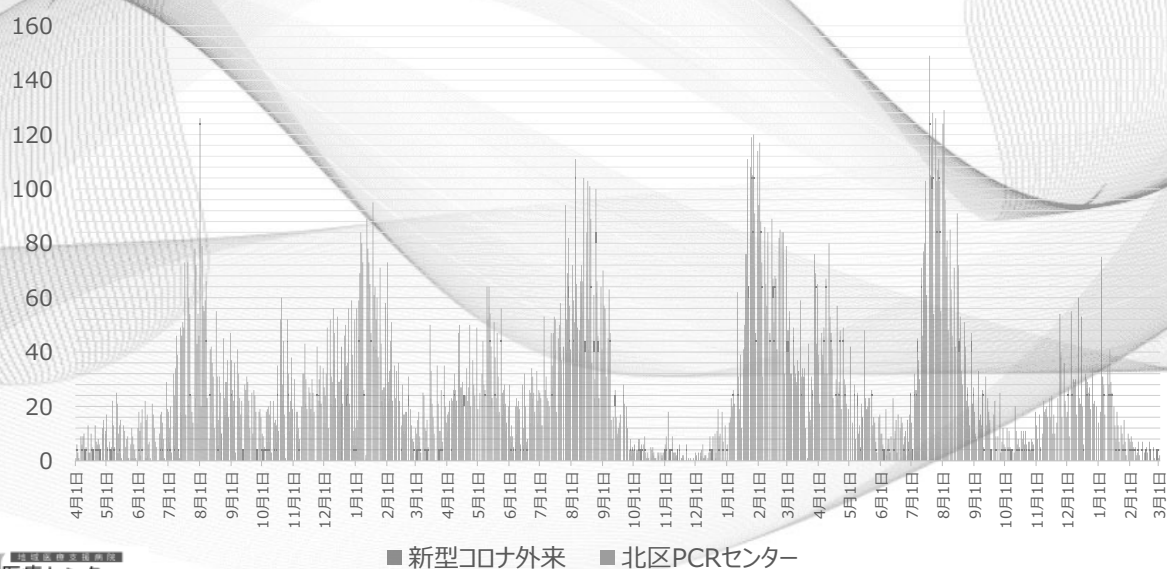
当センターが行ったこと

0. 武漢からの帰国者の健康管理
1. 入院患者受け入れ：DP号から。中等症、重症、小児、妊婦、等
2. PCRセンターおよび新型コロナ外来
3. 移送支援事業
4. ワクチン集団接種会場運営
5. 入院待機ステーション（病院内）
6. 宿泊療養施設運営（ホテル）
7. 高齢者等医療支援型施設（青山）運営

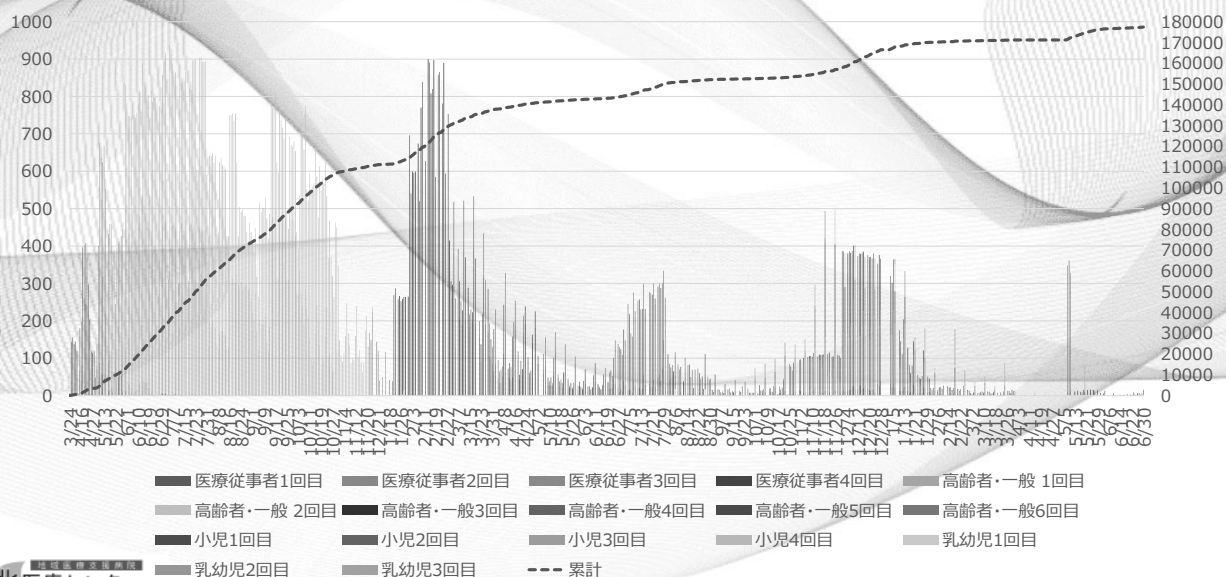
「東京都の新規感染者数」と「当院における在院患者数」の比較



新型コロナ外来・北区PCRセンター患者数



ワクチン接種実績（3/24～）延べ回数177,425回（6/30時点）



新型コロナウイルス感染症対応（2020.2～2023.6）

感染者入院数	1,958人	延べ数	16,944人
疑似症患者入院数	3,715人	延べ数	9,787人
コロナ外来数	20,379人		
ワクチン接種数	177,425回		

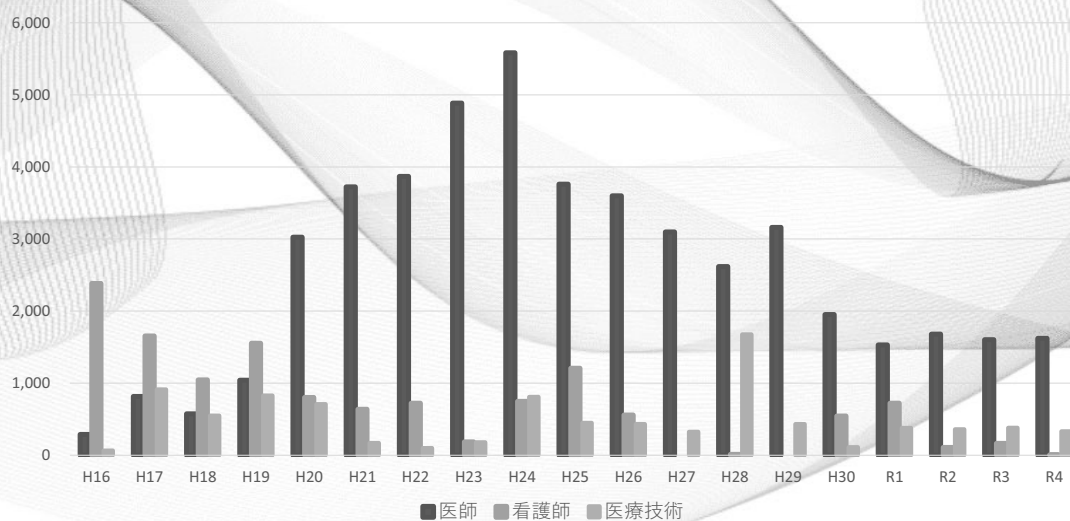


へき地医療（支援）



東京北医療センター
つなぐ 命と人

支援派遣実績



東京北医療センター
つなぐ 命と人

当センターのSGDsへの取り組み事例 (各ターゲット毎に)

3 すべての人に 健康と福祉を



当センターは、救急指定病院、地域医療支援病院として地域住民の方々への医療サービスを提供しています。

国連の掲げる”あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する”という大きな目標に対してはこれまでも取り組んできており、今後もその方向性は変わりありません。

特に周産期医療の充実、小児の24時間救急などへの貢献や、糖尿病予防、アルコール依存症対策・予防の啓蒙にも力を入れております。

病院におけるSDGs

3 すべての人に健康と福祉を



地域医療支援病院、救急指定病院としてすべての人に医療提供を行っている。特に周産期医療や小児の24時間救急も行っている。

保健予防活動としては検診、予防接種を行っている。

新型コロナでは、入院診療、外来診療、PCR検査、ワクチン接種、その他、を行ってきた

病院におけるSDGs

5 ジェンダー平等を実現しよう



当センターでは、職員を含む全ての方々が平等な環境を構築することにコミットしています。そして、その重要性はますます高まっていると感じております。

医療機関として、命を扱う業務である限り、全ての方を平等に、対等に見つめることはもちろん、その人の中にある能力へ注視し、潜在的な才能を開花させるための様々な教育機会も設けております。

とりわけ、ジェンダー、LGBTQ、障がいのある方、クロスカルチャーのダイバーシティに関する課題には重点を置いて取り組んでいます。

すべての職員が、入社した瞬間からキャリアのさまざまなマイルストーンを通じて、公正かつ平等に評価されることができるよう努めています。社員が不当な差別や不平等な状況に直面するようなことがあれば、速やかに対処し是正します。

24時間保育所を設置することで、子育て女性の働き方を支援しています。

病院におけるSDGs

5 ジェンダー平等を 実現しよう



職員のみならず患者を含むすべての人を平等な環境を提供するジェンダー平等、LGBTQ+への対応、クロスカルチャーにおける課題については積極的に取り組んでいる。

女性職員が働きやすい環境づくりとしては、24時間保育所の設置を行っています→当院の医師のおよそ半分は女性。

LGBTQ+については患者および職員に対しての環境づくりを検討：ロッカー、トイレ、など。いまだ未解決

病院におけるSDGs

8 働きがいも 経済成長も



当センターでは、障害者雇用を積極的に行っております。

これは、国連の掲げる「働きがいも経済成長も」というSDGs項目への貢献となります。

採用に当たっては、年齢・性別・身体的障害に関わらず、一切の差別や偏見を無くし、全ての方へ等しく機会を提供しております。

病院におけるSDGs

10 人や国の不平等をなくそう



国連の掲げる”2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する”という項目に関し、当センターでは雇用機会において平等且つ公平な対応で臨んでおります。

特に障害者雇用においては積極的に行っております。

病院におけるSDGs

11 住み続けられるまちづくりを



当センターでは、国連の定める”2030年までに、大気の水及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する”という目標を達成するために、プラスチックごみの縮小化考察、二酸化炭素排出を軽減するための紙資源の利用削減を実施しています。

具体的には、院内に示す紙資源での掲示物をデジタルサイネージという形で節約、病院保有の移動車はEV化したものを選択し、気候変動対策への貢献を行っております。

また、当センターでは24時間の救急（小児含む）医療を展開しており、地域の方々が安心して生活できる基盤確立に貢献しています。

病院におけるSDGs

12 つくる責任 つかう責任



当センターは、医療廃棄物の削減に努めています。

近年の新型コロナウイルス（COVID19）によって、対策が一時的に鈍化する場面もありましたが、基本的には資源の再利用を念頭に置き、これに取り組んでおります。

その一つとして、紙の利用を極力減らす電子化への移行とともに、利用する場合でも再生紙を活用するなどの取り組みを行っております。

病院におけるSDGs

13 気候変動に 具体的な対策を



当センターが所属する”公益社団法人 地域医療振興協会”は、へき地医療に力を入れております。

離島・へき地医療において診療所を運営することで、国連が掲げる「後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において、女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てること・・・」という目標への貢献をしていると自負しております。

また災害拠点病院を担う当センターでは、“気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。”項目を達成するための役割を担っております。

病院におけるSDGs

公益社団法人 地域医療振興協会

15

陸の豊かさも
守ろう



人々にとって快適な空間を提供することを目指し、緑地空間を創出するための取り組みを行っております。

その一つが「屋上庭園」です。

病院周辺のみならず3Fの屋上広場を緑地化し、患者様や周辺住民の方の憩いの場として活用していただくため、専任の担当者を配置し、春夏秋冬を感じる植栽管理を行っております。

公益社団法人
東京北医療センター
つなぐ 命と人

病院におけるSDGs

公益社団法人 地域医療振興協会

16

平和と公正を
すべての人に



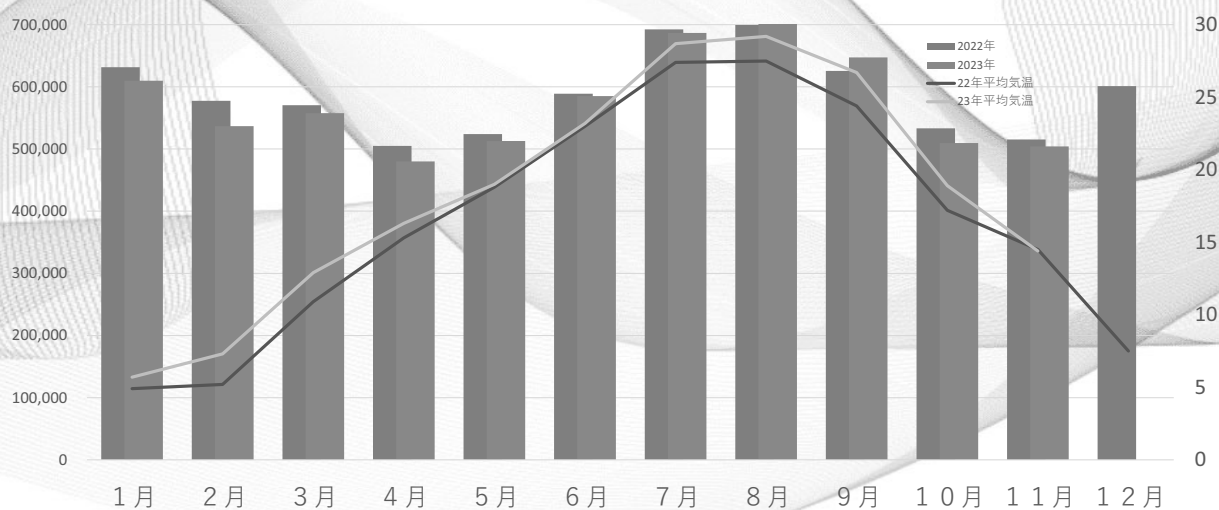
当センターは、24時間小児救急を展開しており、このことは子どもへの虐待・暴力の有無を事前に察知することができ、国連の掲げる”あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。”という事への貢献を行っております。

公益社団法人
東京北医療センター
つなぐ 命と人

「LET'S SETSUDEN！」

キャンペーンについて

電気使用量・平均気温の推移



当センターのDX ペーパーレス化の取り組み事例

当センターでは、SDGSへの取り組みの一環として、院内のペーパーレス化に取り組んでいます。

その中で紙消費の多くを占めていた院内カタログ、パンフレットを2022年9月より、デジタル化いたしました。

デジタル化したことで以下のようなメリットを享受できました。

- 1, 物理的な距離に関係なく、遠方の方でも当センターのカタログを見ていただける機会が増えた
- 2, 印刷コストの断続的な提言によりコストダウンが図れた
- 3, 内容の変更がスピーディーになりました



デジタルサイネージの導入前と導入後の様子

導入前



導入後



世の中全体の流れとしてのペーパーレス化の取り組み

また、東京都病院協会の録集＋プログラムもデジタル化が行われております。

こうした流れは一般企業を中心として進んでおり、現在では多くの法人が、自社パンフやリーフレットをデジタル化しております。

デジタル化することで、時節に応じたフレキシブルな対応、動画やWEBサイトへのリンクなど、様々な応用が可能で、訴求力が大幅に向上します。

PC、またはスマートフォンを所有していない方への対応懸念は残るものの、2023年時点で、スマートフォンの世帯普及率は89.9%と多く、今後さらにシェアは広がると考えられておりますので、アクセスへの当面の不安は無いと考えられます。

積極的な緑地化

気候変動問題対策とコミュニケーション活性化のための施策

当センター3Fの屋上庭園には、患者様と職員の憩いのスペースとして、緑地化を実施しております。都心ありながら、四季を感じられる植物を植樹しております。



そして忘れてはいけない事：災害支援

私たちは震災対応においても積極的に取り組んでおります

1995年の阪神淡路大震災

2013年の東日本大震災 → 女川を全面的に支援

2024年の能登半島地震 → DMAT、JMAT等で現地支援



これからの課題

気候変動問題

節電 → 意識付けがなかなか継続しない

救急車両のEV化は？

同意書などの紙資源は増える一方？

LGBTQ+

ロッカー、トイレというハード面の課題、ほかにもどちらの立場からの視点で見るか？（例えば、生物学的女性が男性トイレやロッカーに入った場合は？または個室であっても他人の視線はどうなる？など）

まとめ

- 医療そのものがすでにSDGsの項目にあてはまる
- 環境問題について、個人や一施設でできることは小さいことだがこれが継続し拡大していくことで解決すると信じる
- 差別などの意識を変える（ステレオタイプにならない）

